

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成23年3月31日(2011.3.31)

【公表番号】特表2007-526759(P2007-526759A)

【公表日】平成19年9月20日(2007.9.20)

【年通号数】公開・登録公報2007-036

【出願番号】特願2006-525779(P2006-525779)

【国際特許分類】

| | | |
|---------|---------|-----------|
| C 1 2 N | 15/09 | (2006.01) |
| C 1 2 Q | 1/68 | (2006.01) |
| C 1 2 N | 1/15 | (2006.01) |
| C 1 2 N | 1/19 | (2006.01) |
| C 1 2 N | 1/21 | (2006.01) |
| C 1 2 N | 5/10 | (2006.01) |
| C 0 7 K | 16/46 | (2006.01) |
| C 0 7 K | 16/30 | (2006.01) |
| C 0 7 K | 14/82 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 48/00 | (2006.01) |
| A 6 1 P | 35/00 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 39/395 | (2006.01) |
| A 6 1 K | 31/7088 | (2006.01) |
| C 1 2 P | 21/08 | (2006.01) |

【F I】

| | | |
|---------|---------|---------|
| C 1 2 N | 15/00 | Z N A A |
| C 1 2 Q | 1/68 | A |
| C 1 2 N | 1/15 | |
| C 1 2 N | 1/19 | |
| C 1 2 N | 1/21 | |
| C 1 2 N | 5/00 | A |
| C 0 7 K | 16/46 | |
| C 0 7 K | 16/30 | |
| C 0 7 K | 14/82 | |
| A 6 1 K | 48/00 | |
| A 6 1 P | 35/00 | |
| A 6 1 K | 39/395 | E |
| A 6 1 K | 39/395 | T |
| A 6 1 K | 31/7088 | |
| C 1 2 P | 21/08 | |

【誤訳訂正書】

【提出日】平成23年2月2日(2011.2.2)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項1】

医薬組成物であって、腫瘍関連抗原の発現または活性を阻害する剤を含み、前記腫瘍関連抗原が：

(a) 配列番号：19～21、54～57、1～5、29、31～33、37、39、40、62、63、70、74、85～88からなる群から選択された核酸配列を含む核酸、この一部または誘導体、

(b) (a)の核酸とストリンジエントな条件下でハイブリダイズする核酸、

(c) (a)または(b)の核酸に対して縮重している核酸、および

(d) (a)、(b)または(c)の核酸に相補的な核酸

からなる群から選択された核酸によりコードされた配列を有する、前記医薬組成物。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項2】

医薬組成物であって、腫瘍阻害活性を有し、腫瘍関連抗原を発現するか、または異常に発現する細胞に対して選択性である剤を含み、前記腫瘍関連抗原が、

(a) 配列番号：19～21、54～57、1～5、29、31～33、37、39、40、62、63、70、74、85～88からなる群から選択された核酸配列を含む核酸、この一部または誘導体、

(b) (a)の核酸とストリンジエントな条件下でハイブリダイズする核酸、

(c) (a)または(b)の核酸に対して縮重している核酸、および

(d) (a)、(b)または(c)の核酸に相補的な核酸

からなる群から選択された核酸によりコードされた配列を有する、前記医薬組成物。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項7】

医薬組成物であって、投与された際に、HLA分子と、腫瘍関連抗原またはこの一部との間の複合体の量を選択的に増大させる剤を含み、前記腫瘍関連抗原が：

(a) 配列番号：19～21、54～57、1～5、29、31～33、37、39、40、62、63、70、74、85～88からなる群から選択された核酸配列を含む核酸、この一部または誘導体、

(b) (a)の核酸とストリンジエントな条件下でハイブリダイズする核酸、

(c) (a)または(b)の核酸に対して縮重している核酸、および

(d) (a)、(b)または(c)の核酸に相補的な核酸

からなる群から選択された核酸によりコードされた配列を有する、前記医薬組成物。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項9】

剤が、各々の場合において、異なる腫瘍関連抗原の発現または活性を選択的に阻害し、各々の場合において、異なる腫瘍関連抗原を発現する細胞に選択的であり、またはHLA分子と異なる腫瘍関連抗原またはこの一部との間の複合体の量を増大させる、2種または3種以上の剤を含み、前記腫瘍関連抗原の少なくとも1種が：

(a) 配列番号：19～21、54～57、1～5、29、31～33、37、39、40、62、63、70、74、85～88からなる群から選択された核酸配列を含む核酸、この一部または誘導体、

(b) (a) の核酸とストリンジエントな条件下でハイブリダイズする核酸、

(c) (a) または (b) の核酸に対して縮重している核酸、および

(d) (a) 、 (b) または (c) の核酸に相補的な核酸

からなる群から選択された核酸によりコードされた配列を有する、請求項 1、2 または 7 に記載の医薬組成物。

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 10

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 10】

医薬組成物であって：

(i) 腫瘍関連抗原またはこの一部、

(i i) 腫瘍関連抗原またはこの一部をコードする核酸、

(i i i) 腫瘍関連抗原またはこの一部に結合する抗体、

(i v) 腫瘍関連抗原をコードする核酸に特異的にハイブリダイズするアンチセンス核酸

、

(v) 腫瘍関連抗原またはこの一部を発現する宿主細胞、および

(v i) 腫瘍関連抗原またはこの一部と HLA 分子との間の単離された複合体

からなる群から選択された 1 種または 2 種以上の成分を含み、前記腫瘍関連抗原が：

(a) 配列番号：19～21、54～57、1～5、29、31～33、37、39、40、62、63、70、74、85～88 からなる群から選択された核酸配列を含む核酸、この一部または誘導体、

(b) (a) の核酸とストリンジエントな条件下でハイブリダイズする核酸、

(c) (a) または (b) の核酸に対して縮重している核酸、および

(d) (a) 、 (b) または (c) の核酸に相補的な核酸

からなる群から選択された核酸によりコードされた配列を有する、前記医薬組成物。

【誤訳訂正 6】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 33

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 33】

腫瘍関連抗原の発現または異常な発現により特徴づけられる疾患を診断する方法であつて、この方法が、

(i) 腫瘍関連抗原もしくはこの一部をコードする核酸の検出、および / または

(i i) 腫瘍関連抗原もしくはこの一部の検出、および / または

(i i i) 腫瘍関連抗原もしくはこの一部に対する抗体の検出、および / または

(i v) 患者から単離された生物学的試料中の腫瘍関連抗原またはこの一部に特異的な、細胞障害性もしくはヘルパー T リンパ球の検出

を含み、前記腫瘍関連抗原が：

(a) 配列番号：19～21、54～57、1～5、29、31～33、37、39、40、62、63、70、74、85～88 からなる群から選択された核酸配列を含む核酸、この一部または誘導体、

(b) (a) の核酸とストリンジエントな条件下でハイブリダイズする核酸、

(c) (a) または (b) の核酸に対して縮重している核酸、および

(d) (a) 、 (b) または (c) の核酸に相補的な核酸

からなる群から選択された核酸によりコードされた配列を有する、前記方法。

【誤訳訂正 7】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 4 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 4 4】

腫瘍関連抗原の発現または異常な発現により特徴づけられる疾患の退行、経過または発症を決定する方法であって、該方法が、前記疾患を患っているか、または前記疾患に罹患していることが疑われる患者からの試料を：

(i) 腫瘍関連抗原またはこの一部をコードする核酸の量、

(i i) 腫瘍関連抗原またはこの一部の量、

(i i i) 腫瘍関連抗原またはこの一部に結合する抗体の量、および

(i v) 腫瘍関連抗原またはこの一部と MHC 分子との間の複合体に特異的な細胞溶解性またはサイトカイン放出性 T 細胞の量

からなる群から選択された 1 種または 2 種以上のパラメーターに関してモニタリングすることを含み、前記腫瘍関連抗原が：

(a) 配列番号： 19 ~ 21 、 54 ~ 57 、 1 ~ 5 、 29 、 31 ~ 33 、 37 、 39 、 40 、 62 、 63 、 70 、 74 、 85 ~ 88 からなる群から選択された核酸配列を含む核酸、この一部または誘導体、

(b) (a) の核酸とストリンジエントな条件下でハイブリダイズする核酸、

(c) (a) または (b) の核酸に 対して縮重 している核酸、および

(d) (a) 、 (b) または (c) の核酸に相補的な核酸

からなる群から選択された核酸によりコードされた配列を有する、前記方法。

【誤訳訂正 8】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 5 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 5 6】

腫瘍関連抗原の発現または異常な発現により特徴づけられる疾患の処置方法であって、該方法が、請求項 1 ~ 32 のいずれかに記載の医薬組成物を投与することを含み、前記腫瘍関連抗原が：

(a) 配列番号： 19 ~ 21 、 54 ~ 57 、 1 ~ 5 、 29 、 31 ~ 33 、 37 、 39 、 40 、 62 、 63 、 70 、 74 、 85 ~ 88 からなる群から選択された核酸配列を含む核酸、この一部または誘導体、

(b) (a) の核酸とストリンジエントな条件下でハイブリダイズする核酸、

(c) (a) または (b) の核酸に 対して縮重 している核酸、および

(d) (a) 、 (b) または (c) の核酸に相補的な核酸

からなる群から選択された核酸によりコードされた配列を有する、前記方法。

【誤訳訂正 9】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 5 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 5 7】

腫瘍関連抗原の発現または異常な発現により特徴づけられる疾患を処置し、診断し、またはモニタリングする方法であって、該方法が、前記腫瘍関連抗原またはこの一部に結合し、治療剤または診断剤と結合した抗体を投与することを含み、前記腫瘍関連抗原が：

(a) 配列番号： 19 ~ 21 、 54 ~ 57 、 1 ~ 5 、 29 、 31 ~ 33 、 37 、 39 、 40 、 62 、 63 、 70 、 74 、 85 ~ 88 からなる群から選択された核酸配列を含む核酸、この一部または誘導体、

(b) (a) の核酸とストリンジエントな条件下でハイブリダイズする核酸、

(c) (a) または (b) の核酸に対して縮重している核酸、および
(d) (a)、(b) または (c) の核酸に相補的な核酸
からなる群から選択された核酸によりコードされた配列を有する、前記方法。

【誤訳訂正 10】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 6 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 6 1】

腫瘍関連抗原の発現または異常な発現により特徴づけられる疾患を患っている患者を処置する方法であって、該方法が：

(i) 免疫反応性細胞を含む試料を前記患者から採取すること、

(ii) 前記試料を、前記腫瘍関連抗原またはこの一部を発現する宿主細胞と、前記腫瘍関連抗原またはこの一部に対して、細胞溶解性またはサイトカイン放出性 T 細胞の產生を好む条件下で接触させること、および

(iii) 細胞溶解性またはサイトカイン放出性 T 細胞を、患者中に、腫瘍関連抗原またはこの一部を発現する細胞を溶解するのに適する量で導入すること

を含み、前記腫瘍関連抗原が：

(a) 配列番号：19～21、54～57、1～5、29、31～33、37、39、40、62、63、70、74、85～88 からなる群から選択された核酸配列を含む核酸、この一部または誘導体、

(b) (a) の核酸とストリンジエントな条件下でハイブリダイズする核酸、

(c) (a) または (b) の核酸に対して縮重している核酸、および

(d) (a)、(b) または (c) の核酸に相補的な核酸

からなる群から選択された核酸によりコードされた配列を有する、前記方法。

【誤訳訂正 11】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 6 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 6 4】

腫瘍関連抗原の発現または異常な発現により特徴づけられる疾患を患っている患者を処置する方法であって、該方法が：

(i) 前記疾患と関連する細胞により発現された核酸を同定し、前記核酸が：

(a) 配列番号：19～21、54～57、1～5、29、31～33、37、39、40、62、63、70、74、85～88 からなる群から選択された核酸配列を含む核酸、この一部または誘導体、

(b) (a) の核酸とストリンジエントな条件下でハイブリダイズする核酸、

(c) (a) または (b) の核酸に対して縮重している核酸、および

(d) (a)、(b) または (c) の核酸に相補的な核酸

からなる群から選択されていること、

(ii) 宿主細胞を、前記核酸またはこの一部でトランスフェクトすること、

(iii) トランスフェクトした宿主細胞を、前記核酸の発現のために培養すること、および

(iv) 宿主細胞またはこの抽出液を、患者に、疾患に関連する患者の細胞に対する免疫応答を増大させるのに適する量で導入すること

を含む、前記方法。

【誤訳訂正 12】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 6 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 6 9】

腫瘍関連抗原の発現または異常な発現により特徴づけられる疾患を処置する方法であつて、該方法が：

(i) 异常な量の腫瘍関連抗原を発現する細胞を患者から同定すること、

(i i) 前記細胞の試料を単離すること、

(i i i) 前記細胞を培養すること、および

(i v) 前記細胞を患者中に、細胞に対する免疫応答を誘発するのに適する量で導入することを含み、前記腫瘍関連抗原が：

(a) 配列番号：19～21、54～57、1～5、29、31～33、37、39、40、62、63、70、74、85～88からなる群から選択された核酸配列を含む核酸、この一部または誘導体、

(b) (a) の核酸とストリンジエントな条件下でハイブリダイズする核酸、

(c) (a) または (b) の核酸に対して縮重している核酸、および

(d) (a) 、(b) または (c) の核酸に相補的な核酸

からなる群から選択された核酸によりコードされた配列を有する、前記方法。

【誤訳訂正 1 3】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 7 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 7 3】

核酸であつて：

(a) 配列番号：20～21、54～57、2～5、31～33、37、39、62、63、85～88からなる群から選択された核酸配列を含む核酸、この一部または誘導体、

(b) (a) の核酸とストリンジエントな条件下でハイブリダイズする核酸、

(c) (a) または (b) の核酸に対して縮重している核酸、および

(d) (a) 、(b) または (c) の核酸に相補的な核酸

からなる群から選択されている、前記核酸。

【誤訳訂正 1 4】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 8 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 8 6】

剤であつて、タンパク質もしくはポリペプチドまたはこの一部に特異的に結合し、前記タンパク質またはポリペプチドが：

(a) 配列番号：19～21、54～57、1～5、29、31～33、37、39、40、62、63、70、74、85～88からなる群から選択された核酸配列を含む核酸、この一部または誘導体、

(b) (a) の核酸とストリンジエントな条件下でハイブリダイズする核酸、

(c) (a) または (b) の核酸に対して縮重している核酸、および

(d) (a) 、(b) または (c) の核酸に相補的な核酸

からなる群から選択された核酸によりコードされている、前記剤。

【誤訳訂正 1 5】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 9 0

【訂正方法】変更

【訂正の内容】**【請求項 9 0】**

抗体であつて：

(i) タンパク質もしくはポリペプチドまたはこの一部および

(i i) 前記タンパク質もしくはポリペプチドまたはこの前記一部が結合するMHC分子の複合体に選択的に結合し、前記抗体は、(i) または(i i) 単独には結合せず、前記タンパク質またはポリペプチドが：

(a) 配列番号：19～21、54～57、1～5、29、31～33、37、39、40、62、63、70、74、85～88からなる群から選択された核酸配列を含む核酸、この一部または誘導体、

(b) (a) の核酸とストリンジエントな条件下でハイブリダイズする核酸、

(c) (a) または(b) の核酸に対して縮重している核酸、および

(d) (a) 、(b) または(c) の核酸に相補的な核酸

からなる群から選択された核酸によりコードされている、前記抗体。

【誤訳訂正 1 6】**【訂正対象書類名】特許請求の範囲****【訂正対象項目名】請求項 9 5****【訂正方法】変更****【訂正の内容】****【請求項 9 5】**

腫瘍関連抗原の発現または異常な発現を検出するためのキットであつて、このキットが、

(i) 肿瘍関連抗原もしくはこの一部をコードする核酸、

(i i) 肿瘍関連抗原もしくはこの一部、

(i i i) 肿瘍関連抗原もしくはこの一部に結合する抗体、および／または

(i v) 肿瘍関連抗原もしくはこの一部とMHC分子との間の複合体に特異的なT細胞の検出のための剤を含み、前記腫瘍関連抗原が：

(a) 配列番号：19～21、54～57、1～5、29、31～33、37、39、40、62、63、70、74、85～88からなる群から選択された核酸配列を含む核酸、この一部または誘導体、

(b) (a) の核酸とストリンジエントな条件下でハイブリダイズする核酸、

(c) (a) または(b) の核酸に対して縮重している核酸、および

(d) (a) 、(b) または(c) の核酸に相補的な核酸

からなる群から選択された核酸によりコードされた配列を有する、前記キット。

【誤訳訂正 1 7】**【訂正対象書類名】特許請求の範囲****【訂正対象項目名】請求項 1 1 4****【訂正方法】変更****【訂正の内容】****【請求項 1 1 4】**

T P T E の発現または異常な発現により特徴づけられる腫瘍の転移を処置、診断またはモニタリングする方法であつて、該方法が、T P T E に、またはこの一部に結合し、治療または診断剤に結合する抗体を投与することを含み、前記T P T E が：

(a) 配列番号：19を含む核酸配列から選択された核酸、この一部または誘導体、

(b) (a) の核酸とストリンジエントな条件下でハイブリダイズする核酸、

(c) (a) または(b) の核酸に対して縮重している核酸、および

(d) (a) 、(b) または(c) の核酸に相補的な核酸

からなる核酸によりコードされた配列を有する、前記方法。

【誤訳訂正 1 8】**【訂正対象書類名】明細書**

【訂正対象項目名】 0 0 1 1

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【0 0 1 1】

本発明により同定された腫瘍関連抗原は、(a)配列番号：1～5、19～21、29、31～33、37、39、40、54～57、62、63、70、74、85～88からなる群から選択された核酸配列を含む核酸、この一部または誘導体、(b)(a)の核酸とストリンジエントな条件下でハイブリダイズする核酸、(c)(a)または(b)の核酸に対して縮重している核酸、および(d)(a)、(b)または(c)の核酸に相補的な核酸からなる群から選択された核酸によりコードされたアミノ酸配列を有する。好ましい態様において、本発明により同定された腫瘍関連抗原は、配列番号：1～5、19～21、29、31～33、37、39、40、54～57、62、63、70、74、85～88からなる群から選択された核酸によりコードされたアミノ酸配列を有する。他の好ましい態様において、本発明により同定された腫瘍関連抗原は、配列番号：6～13、14～18、22～24、30、34～36、38、41、58～61、64、65、71、75、80～84、89～100、101～117からなる群から選択されたアミノ酸配列、この一部または誘導体を含む。

【誤訛訂正 1 9】

【訂正対象書類名】 明細書

【訂正対象項目名】 0 0 3 3

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【0 0 3 3】

特に好ましい態様において、増大した移動拳動は、転移および／またはリンパ節転移の形成および／または遠隔転移またはこの可能性を示す。この態様において、本発明において同定された腫瘍関連抗原は、好ましくは、以下のものからなる群から選択された核酸によりコードされた配列を有する：(a)配列番号：19～21および54～57からなる群から選択された核酸配列を含む核酸、この一部または誘導体、(b)(a)の核酸とストリンジエントな条件下でハイブリダイズする核酸、(c)(a)または(b)の核酸に対して縮重している核酸、および(d)(a)、(b)または(c)の核酸に相補的な核酸。腫瘍関連抗原は、好ましくは、配列番号：22～24、58～61、81、82および103～105からなる群から選択されたアミノ酸配列、この一部または誘導体を含む。

【誤訛訂正 2 0】

【訂正対象書類名】 明細書

【訂正対象項目名】 0 0 3 6

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【0 0 3 6】

好ましくは、本発明において同定された腫瘍関連抗原は、以下のもの：(a)配列番号：19～21および54～57からなる群から選択された核酸配列を含む核酸、この一部または誘導体、(b)(a)の核酸とストリンジエントな条件下でハイブリダイズする核酸、(c)(a)または(b)の核酸に対して縮重している核酸、および(d)(a)、(b)または(c)の核酸に相補的な核酸からなる群から選択された核酸によりコードされる配列を有し、決定は、好ましくはこのプロモーター領域内の、特に配列番号：822に示す配列内の、特に配列番号：822に示す配列の位置121～540のヌクレオチド内の、当該核酸に関して行われる（染色体21上のT P T Eのプロモーター配列、転写の開始に関する位置-368/+952）。

【誤訛訂正 2 1】

【訂正対象書類名】 明細書

【訂正対象項目名】 0 0 5 1

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【0 0 5 1】

本発明は、さらに、核酸であって、(a)配列番号：2～5、20～21、31～33、39、54～57、62、63、85～88からなる群から選択された核酸配列を含む核酸、この一部または誘導体、(b)(a)の核酸とストリンジエントな条件下でハイブリダイズする核酸、(c)(a)または(b)の核酸に対して縮重している核酸、および(d)(a)、(b)または(c)の核酸に相補的な核酸からなる群から選択されている、前記核酸に関する。本発明は、さらに、核酸であって、配列番号：7～13、14～18、23～24、34～36、58～61、64、65、89～100、101～107からなる群から選択されたアミノ酸配列、この一部または誘導体を含むタンパク質またはポリペプチドをコードする、前記核酸に関する。

【誤訳訂正 2 2】

【訂正対象書類名】 明細書

【訂正対象項目名】 0 0 5 5

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【0 0 5 5】

他の観点において、本発明は、タンパク質またはポリペプチドであって、(a)配列番号：2～5、20～21、31～33、39、54～57、62、63、85～88からなる群から選択された核酸配列を含む核酸、この一部または誘導体、(b)(a)の核酸とストリンジエントな条件下でハイブリダイズする核酸、(c)(a)または(b)の核酸に対して縮重している核酸、および(d)(a)、(b)または(c)の核酸に相補的な核酸からなる群から選択されている核酸によりコードされた、前記タンパク質またはポリペプチドに関する。好ましい態様において、本発明は、タンパク質またはポリペプチドであって、配列番号：7～13、14～18、23～24、34～36、58～61、64、65、89～100、101～107からなる群から選択されたアミノ酸配列、この一部または誘導体を含む、前記タンパク質またはポリペプチドに関する。

【誤訳訂正 2 3】

【訂正対象書類名】 明細書

【訂正対象項目名】 0 1 1 7

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【0 1 1 7】

本発明はまた、腫瘍関連抗原に特異的に結合するポリペプチドを含む。この種類のポリペプチド結合物質は、例えば、単に、固定された形態で溶液中に、またはファージディスプレイライブラリーとして製造することができる、縮重ペプチドライブラリーにより、提供することができる。同様に、1種または2種以上のアミノ酸を有するペプチドの組み合せライブラリーを製造することも可能である。ペプトイドおよび非ペプチド性合成残基のライブラリーもまた、製造することができる。